

柵の木からの手紙

2015年 11月号



先月号で、季節の巡りのズレについて書きましたが、この秋は9月27日の大雨で秋播き小麦の発芽不良、播種遅れ等の被害が生じ、10月8日には台風23号による暴風雨で畑が冠水流出、土手や崖が各地で崩れる被害が出ました。また、町内においても住宅の冠水による避難事態が発生する程の災害になりました。その後一気に季節が進み、雪虫を10月13日に確認しましたが暴風雨の影響なのか多くの雪虫を見る事無く、14日には初霜、16日には初氷が張り10月25日には夕方からの例年に無い降雪でビートの収穫出荷に影響が出ました。

11月 霜月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8日：立冬

12日：新月 旧 10月 1日

23日：小雪

26日：満月 旧 10月15日

10月20・21日に黒大豆の収穫ニオ積みをしました。雪前に完了出来ましたが、26日朝には、雪景色の畑に青いテントを掛けた黒大豆のニオが5個目立っています。また、大豆の収穫跡の隣にはキカラシ緑肥雑草抑制試験の秋播き小麦が薄らと緑の絨毯の様に見えています。時期的に雑草は少ないですが寒さに強い雑草としてハコベやナズナを確認しています。

台風23号の被害ですが、9日朝に畑を見回りましたが、冠水2か所、崩れ2か所ありました。特に、自然農法畑の隣の畑との境界の4m程の高さの土手が幅3m強で崩れてしまったのは予期していない場所でした。

黒大豆は、崖崩れに巻き込まれる事無く無事でした。今回の崩壊で畑の地層断面が現れ折角ですので地層の深さ毎のサンプルを採って土壌診断を行っています。

異常気象という言葉で片付けがちな事象ですが、岡田茂吉氏の論文に次の様な言葉があります。

「暴風雨の原因であるが、これも人間の悪の想念と、悪の言葉と行為によるので、その浄化清掃作用が暴風雨である。…いかなる災難でも天候の不順でもみんな人間が造るんです。」

